

## 決議第1号

### 2025年国際博覧会の大阪・関西への誘致に関する決議

国際博覧会は、地球的規模の課題に対し、世界からの知恵を一同に集め、様々な創造活動を共に体験し、刺激を受け、考え、発見することで、課題解決方策を提言する場であり、その重要性はますます高まっている。

先般、政府において、閣議了解が行われ、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとし、大阪市・夢洲を会場とする国際博覧会の開催についての書簡をB I E（博覧会国際事務局）へ提出し、立候補が行われた。

国際博覧会を「関西」で開催することは、日本の歴史・文化の原点である関西の素晴らしさを世界の人々に理解してもらう絶好の機会となり、関西全域に新たな観光や産業のイノベーションが期待できるなど、大きな経済効果をもたらすとともに、関西の知名度向上にも大きく貢献するものと考えられる。また、広域連合が提唱する国土の双眼構造の構築及び目指すべき関西の将来像の実現にも大きく寄与するものである。

関西は世界最先端のライフサイエンスの研究拠点の集積や、高い生産技術を有する製造業が備わり、博覧会を実施できるポテンシャルを有しており、国際博覧会を開催するにふさわしい地である。

よって、関西広域連合議会は、国際博覧会開催の意義に賛同し、国際博覧会の誘致実現に向け、国や2025日本万国博覧会誘致委員会をはじめ、12構成府県市や関西経済界とともに積極的に取り組む。

以上、決議する。

平成29年8月24日

関西広域連合議会